

平成26年度(平成25年度決算)事業評価シート(半田市議会)

委員会名 総務委員会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●知多半島医療圏の基幹病院として安心して受診することができ、質の高い医療を提供しています。	部課等名	半田病院 管理課	評価表整理No.	29-002
事務事業名	看護職員確保対策事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)	○	質の高い医療を提供するため、充実した診療体制を維持し、優秀な人材を確保することが必要であり、基本施策に適合しているため、極めて有効性が高いと評価する。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
90			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		これまでの画一的な働き方を見直す検討を行い、夜勤などによる負担の軽減、人材育成など一定の評価をする。 しかし看護師の確保と同時に、退職する看護師をいかに減らすかが課題であり、看護職員のライフサイクルに応じた働き方の選択など、働きやすい職場環境・労働環境の改善が必要である。看護師の確保は、半田病院の魅力の増大を行うなど差別化が必要であり、改善の余地は高いと評価する。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
52			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)	○	市立病院として、看護職員の確保については、半田病院とともに市が積極的に関わり、推進していく必要があり、極めて妥当性が高いと評価する。
	②妥当性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
90			

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	
	<p>①労働環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない事情(出産・育児等)以外での離職の原因等をしっかりと分析し、看護師確保の改善に役立てること。 ・労働環境、待遇のさらなる改善により、継続して働くことができるような工夫に取り組むこと。 ・出産・育児等に退職した職員には、復職しやすい環境(レベルアップ・研修・講習など)を整えること。 <p>②確保対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知多半島圏内でのPR強化とともに、他の病院にはない魅力(総合医療体制、技術、スタッフ等)をPRしていくこと。 ・潜在看護師の掘り起し(子育てが終わり、復職できるような環境とPR)を行うこと。 ・半田常滑看護学校、日本福祉大学、人間環境大学等の看護養成学校の実習受け入れに、将来の半田病院看護師として選択されるよう、実習体制と人的関係を強化すること。
予算提案	
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師確保のため、報酬等の見直しを図ること。
少数意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の優先的な確保のため、半田常滑看護専門学校等の定員見直しを検討すること。